

2017年度スーパービジョン研修

～経過的対応～

1. 研修の目的・趣旨

認定社会福祉士制度において、社会福祉士の実践力向上にスーパービジョンは不可欠としており、スーパービジョン実績は必修単位とされています。同時に本会の生涯研修制度においてもスーパービジョン実績を単位として扱うこととしています。これらの制度の運用にあたっては、スーパービジョンの機会の保証のためにスーパーバイザーの確保が急務となっています。そこで本研修では、すでにスーパーバイザーとしての実践及び力量を有する方を対象に、スーパービジョンを担う者（経過的期間におけるスーパーバイザー）を確保することを目的として実施します。

なお、認定社会福祉士認証・認定機構の経過的期間におけるスーパーバイザー登録申請には、研修終了後に実施するスーパービジョン説明会の受講が必須となります。

※このたび認定社会福祉士取得ルートとして【スーパーバイザー登録者向けルート】が新設されました。認定社会福祉士認証・認定機構にスーパーバイザーとして登録している方を対象としたルートであり、スーパービジョンを受けた実績だけでなく、スーパービジョンをした実績も単位とすることができます。詳細は、認定社会福祉士認証・認定機構のホームページや本会ニュースNO.180（2016年6月号）をご参照ください。

2. 日程・会場（予定）

	日 程	会 場
東京会場	2017年9月30日（土）～10月1日（日）	未定（東京都内）
福岡会場	2017年10月28日（土）～29日（日）	チクモクビル（福岡市中央区）
札幌会場	2017年11月3日（金・祝）～4日（土）	NTT北海道セミナーセンタ（札幌市中央区）

3. プログラム（予定）

	日 程	内 容
1 日 目	12:00～12:05（5分）	開会挨拶
	12:05～13:15（70分）	講義：生涯研修制度と認定社会福祉士制度
	13:15～14:20（65分）	講義：スーパービジョンとは～社会福祉士会で行うスーパービジョン～
	14:20～14:30（10分）	休憩
	14:30～16:30（120分）	演習（事前課題を使用した演習）
	16:30～16:45（15分）	休憩
	16:45～18:45（120分）	スーパービジョンの実際 翌日のための説明 ※宿題があります
2 日 目	9:00～9:10（10分）	オリエンテーション 昨日の振り返りと本日の流れ
	9:10～11:00（110分）	スーパービジョン事例1
	11:00～11:10（10分）	休憩
	11:10～13:00（110分）	スーパービジョン事例2
	13:00～13:10（10分）	スーパービジョン体験・まとめ
	13:10～14:00（50分）	昼食休憩
	14:00～16:00（120分）	スーパービジョン説明会（認定社会福祉士認証・認定機構より受託）

4. 受講条件

本研修は、すでにスーパーバイザーとしての実践及び力量を備えている方を対象にしています。
受講申し込みには、以下の①～⑫のすべての要件を満たしていることが必要です。

①旧生涯研修制度の共通研修課程修了が1回以上であること

(ただし、都道府県社会福祉士会が認めた者であれば生涯研修制度の共通研修課程修了をしていなくても可とする)

②研修修了後、都道府県社会福祉士会におけるスーパーバイザーの役割を担えること

③原則として下記に定める範囲で、社会福祉士取得後10年以上の相談援助実務経験があること

i 通知に定める範囲とは「指定施設における業務の範囲等及び介護福祉士試験の受験資格の認定に係る介護等の業務の範囲等について(昭和63年2月12日付社庶第29号)」厚生労働省社会局長、厚生労働省児童家庭局長通知の別添1に定める範囲。

ii その他、機構が認める指定施設機関及び職種

・矯正施設における相談援助を行っている職員、社会復帰促進センターにおける相談員、家庭裁判所における調査官

・独立型社会福祉士(社会福祉士会の独立型社会福祉士名簿登録者となります。名簿登録期間が実務経験期間となります。スーパーバイザー登録の申請時に日本社会福祉士会の証明が必要になります。研修申込時は不要です)

④自身が実践している相談援助のケース事例が出せること

※社会福祉協議会等の勤務で個別援助事例を持たない場合は、地域の事例でも差し支えありません。

※教員の学生に対する相談援助は事例の対象にはなりません。

※現在直接相談援助に関わっていない方は以前のケース事例でも差し支えありません。

⑤社会福祉士(ソーシャルワーカー)として、自身の実践をとおしての助言・指導を受けたことがあること(養成課程における実習を除きます)

⑥社会福祉士への実践をとおした助言・指導の経験が3件以上あること(研修会の講師を除きます)

⑦事前課題の提出ができること(自身のケース事例、自己チェック票等)

⑧事前課題が所定の水準を満たしていること

⑨所属の都道府県社会福祉士会の推薦が得られること

⑩前年度の会費(日本社会福祉士会への納付分)の滞納がないこと

⑪スーパービジョン実施に必要な書類を日本社会福祉士会ホームページの会員ページからダウンロードできること

⑫日本社会福祉士会からE-mail及びFAXでの連絡が取れること

5. 受講費 25,000円

※受講決定後の事前課題に必要なテキストは各自で購入等手配をしてください。

※食費・旅費・宿泊費等は各自ご負担ください。

6. 食事・宿泊 各自手配をお願いします。

7. 申込方法 ①4～5ページの受講申込書に必要事項を記入し、②日本社会福祉士会ホームページの会員ページから事前課題をダウンロードの上、課題に取り組み、③受講申込書と事前課題(自己チェック票)を所属の都道府県社会福祉士会へ、④事前課題(事例)を日本社会福祉士会へ郵送してください。

8. 申込先 3ページをご参照ください。

9. 定員 各会場50名 (※先着順ではありません)

10. 申込期間 3ページをご参照ください。

11. お申し込みにあたってのご注意

①本研修は、提出された事前課題等に基づいて受講審査を行います。

※審査基準については、3ページをご覧ください。

②本研修は、受講決定後、研修日までの間に課題があります。

③本研修は、全ての課程に出席しても修了基準を満たしていない場合は修了となりません。

④研修修了後、都道府県社会福祉士会でのスーパーバイザーの役割を担っていただきます。

12. 主 催 公益社団法人日本社会福祉士会 生涯研修センター

13. 本研修のプログラム・課題設定、進め方に関しては、すべて日本社会福祉士会の責任において実施しております。

【申込方法】

① 4 ページの申込書の太線枠内に必要事項をご記入の上、事前課題（自己チェック票）とともに所属の都道府県社会福祉士会に郵便または宅配便にてお申し込みください。（コピーしたものを送付し、原本は控えとして保管してください。）

② 事前課題（事例）を日本社会福祉士会に郵便または宅配便にてお送りください。（コピーしたものを送付し、原本は控えとして保管してください）

※事前課題は日本社会福祉士会ホームページの会員ページよりダウンロードしてください。

※会員ページにアクセスするには、ID とパスワードが必要です。ID とパスワードの取得方法は「会員ページご利用法」をご覧ください。

※事前課題、会員ページの「資料室」の「生涯研修センター関連情報」に掲載しています。

※e-メール及びFAXでのお申し込みは受け付けできません。

【お問い合わせ・事前課題（事例）送付先】

（公社）日本社会福祉士会 事務局（営業時間：月～金曜日 9:30～17:30）

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目13番地 カタオカビル2階

TEL：03-3355-6541 FAX：03-3355-6543 担当／赤沼

【申込締切】

本研修のお申し込みには、申込書と2種類の事前課題をご提出いただきます。提出物とその送付先は以下のとおりです。

◆**受講申込書・事前課題（自己チェック票）：5月19日（金）必着**

➡ ご所属の都道府県社会福祉士会に提出してください

◆**事前課題（事例）：6月9日（金）必着** → 日本社会福祉士会に提出してください。

【受講可否の連絡】

受講決定（不可）通知は、8月下旬に郵送する予定です。会場案内・課題・持ち物等については、受講決定通知とともにご案内します。9月になっても通知が届かない場合は、郵便事故等が考えられますので、日本社会福祉士会事務局（担当：赤沼）宛てにお問い合わせください。

事前課題審査基準

事前課題は、下記について審査します。

- ① 受講動機
- ② 自己チェック票の内容
- ③ 事例（審査のポイントは以下のとおり）
 - ・検討したい論点が適切か。
 - ・面接力（逐語）は適切か。
 - ・アセスメント力
 - ・実践力

【自然災害による中止】

自然災害発生等によりやむをえず研修会を中止する場合がございます。判断基準等は本会ホームページをご参照ください。中止の場合は受講料の返金はい行いませんのでご了承ください。

（本会 HP: <http://www.jacsw.or.jp/ShogaiCenter/kensyu/honkai/senmon/saigai.html>）